

美浜発電所1号機の定期的な放射性気体廃棄物放出時の警報発信

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所1号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力 34.0万kW）は、湿分分離器ドレンタンク水面計取出しフランジからの蒸気漏れの点検および補修のため、本日3時26分に原子炉を停止し、現在、点検準備中である。

定期的な放射性気体廃棄物（希ガス）の管理放出作業として、17時35分からD-ガス減衰タンク*¹に貯留している希ガスを補助建屋排気筒から放出する作業を実施していたところ、17時39分に「プロセスモニタ計数率注意警報」が発信した。

直ちに関連パラメータを確認したところ、補助建屋排気筒ガスモニタの指示値が上昇（通常約850cpmが約4200cpmに上昇、警報設定値は2000cpm）していることが確認されたため、直ちに放出作業を停止した結果、モニタの指示値は低下し、17時49分に通常値に戻った。

なお、今回の指示値上昇に伴い環境中に放出された放射性気体廃棄物（希ガス）の量は、約 8.3×10^8 ベクレル*²と評価されたが、この放出放射エネルギーは、保安規定に基づく美浜発電所の希ガスの放出管理目標値（ 2.1×10^{15} ベクレル/年）に比べ、250万分の1以下と十分低く、周辺環境等への影響はない。

また、美浜発電所周辺に設置している環境放射線監視用モニタリングポストの指示値にも有意な変化は認められない。

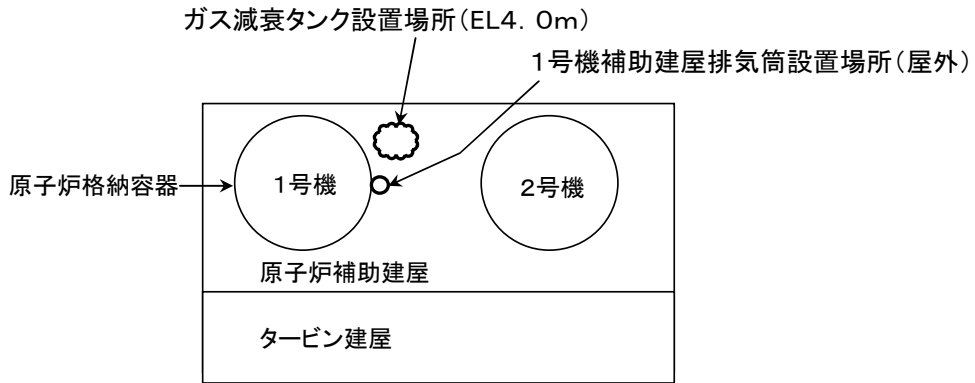
*1：原子力発電所の運転に伴い発生する放射性気体廃棄物（希ガス）の放射能を減衰させるために、一時的に希ガスを貯留するタンク（全4台）。放射能が減衰したことを確認し、定期的に希ガスを管理放出する。

*2：美浜発電所の放射性気体廃棄物（希ガス）の放出実績は、H18年度… 2.3×10^9 Bq、H17年度… 1.2×10^9 Bq、H16年度… 1.9×10^9 Bqである。

問い合わせ先(担当：伊藤)
内線2354・直通0776(20)0314

美浜発電所1号機の定期的な放射性気体廃棄物放出時の警報発信

発生場所



系統概略図

